

保護者の皆様

上田市立第四中学校長 宮澤 好一

学校自己評価・中間報告のまとめ（考察と今後の方策）

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本年度は新型コロナウイルスの関係で4月、5月と休校になりました。6月の学校再開以降も様々な活動制限がかかっています。その中、保護者アンケートにご協力をいただきました。誠にありがとうございます。生徒アンケート・保護者アンケートをもとに、私ども教職員も自己評価を実施し、その結果を考察して、指導改善の方向を導き出しました。今後も生徒のさらなる成長を、教職員一丸となって支援していく所存です。なお、次回は来年の1月に実施予定です。今後とも保護者の皆様の、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（詳細につきましてはホームページをご覧ください）

学校へ行くのが楽しみ。

学校へ行くのが「楽しみ」と回答した生徒がほぼ82%（昨年比変わらず）で、概ね良好と思われま。楽しみにしている教科（授業）があると回答している生徒もおおよそ86%います。多くの生徒が学校生活に楽しみややりがいを感じている実態も伺えます。しかし、10%弱の生徒が学校へ行くのが「楽しみではない」と回答している現状もあります。前期はコロナ感染症予防のため、2ヶ月間の休校があり生活リズムの乱れから、学校へ行くのが面倒になった生徒もいたようです。また、逆に早く学校へ行きたいという生徒も多くみられました。改めて学校の存在意義を考える機会となりました。今後も生徒がやりがいや楽しみをもって学校生活を送れる学校を目指し、取り組んでいきます。



「自分の良さ」や「友の良さ」を理解し、自己肯定感を養う。

「自分の良さや友の良さを理解し、学校生活でいかそうとしている」という質問に対し、概ね達成できたと回答した生徒は前年比4.0%増の84%と増加しており、コロナによる2ヶ月の休校があったあとでしたが、生徒間でも友の良さを理解し、良好な人間関係を築こうとしている様子が伺えました。保護者に関しては、前年と変わらず、7割近くになってきています。また、我々教職員も、日頃から生徒の良さに目を向け、積極的に認めたり評価したりするよう心がけています。引き続き、本人の良さを、積極的に生徒や保護者の皆様に伝えていくことができるよう工夫を継続してまいります。



「四中学びスタイル」の定着から、さらに主体的な学びへ。

授業の約束や時間を守って学習に取り組んでいると感じている生徒は97%に達し、3年前から全校で取り組んでいる「四中生学びスタイル」が定着し、成果をあげてきています。授業の分かりやすさについても86%の生徒が概ね良好と答えています。それに対して家庭学習の取り組みについては、生徒が70%、保護者については51%と低い値になっています。コロナ感染症予防のため新年度のスタートが2ヶ月遅れたことも学習状況に影響があったかと思えます。2学期からはじまった、四中アカデミー（放課後学習・長期休業中の学習）なども積極的に活用させながら、授業以外での学習への取り組みをサポートしていきます。



「コロナ感染症予防対策」への取り組み。

この度の、「コロナ感染症」に関する予防対策として、学校では、教育委員会と連携しながら、できる限りの対策を行ってきました。健康チェックシート、手指の消毒、マスク着用、教室の消毒、換気はもとより、状況に応じて、休校措置、分散登校、分散授業、登校時における、玄関前の健康チェックを行いました。生徒、保護者の皆様にもご協力いただいた結果、「毎日の検温、消毒、手洗い」について生徒が97%、保護者94%と自己管理に努めていただきました。今年度は、行事の面でも、密を避けるため、学校へ来ていただくことについてもご遠慮いただいている次第です。

今後もコロナ感染症予防のためのご理解とご協力の程よろしく申し上げます。



「(心に)届くあいさつ」ができています。

「あいさつ」について、できると回答した生徒は、前年比4%増の78%と増加しました。ここ数年間の様子を見ると、ほぼ78%前後にとどまっています。さらに概ねできていると回答した保護者については70%となっています。前半は生徒会主催の「あいさつ運動」をする機会が取れない状況もあり、校長以下全職員で行っています。今年度も四中プライドを合言葉に内にも外にも心を解放し、「明るいあいさつ」を目指していきます。今後は、生徒会の活動や部活動を通して、生徒同士でもあいさつの輪が広がっていくよう取り組んでいきます。ご家庭でも、生徒が進んであいさつができるような声かけをお願いします。

